

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース／通貨αコース)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間 (2014年1月24日～2024年1月17日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(資産成長クラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(通貨αクラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書(全体版)

資産成長コース	第13期 (決算日 2020年7月17日)
	第72期 (決算日 2020年2月17日)
	第73期 (決算日 2020年3月17日)
	第74期 (決算日 2020年4月17日)
通貨αコース	第75期 (決算日 2020年5月18日)
	第76期 (決算日 2020年6月17日)
	第77期 (決算日 2020年7月17日)
(作成対象期間 2020年1月18日～2020年7月17日)	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

[資産成長コース]は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、[通貨αコース]は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2018年7月17日)	9,626	10	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0	897
10期末(2019年1月17日)	9,421	10	△ 2.0	10,559	△ 1.3	—	99.1	824
11期末(2019年7月17日)	9,814	10	4.3	11,203	6.1	—	99.2	783
12期末(2020年1月17日)	10,276	10	4.8	11,790	5.2	—	99.6	733
13期末(2020年7月17日)	9,291	10	△ 9.5	10,844	△ 8.0	—	99.0	605

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックスエマーシング・マーケットグローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックスエマーシング・マーケットグローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

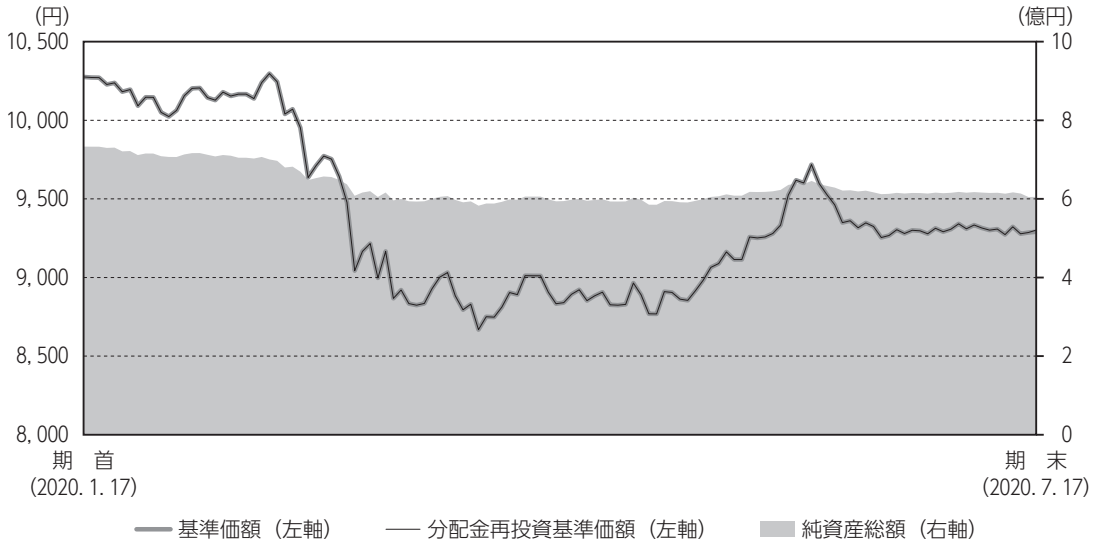
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,276円

期末：9,291円（分配金10円）

騰落率：△9.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因になりましたが、投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2020年 1月17日	10,276	—	11,790	—	—	99.6
1月末	10,050	△ 2.2	11,535	△ 2.2	—	99.5
2月末	9,953	△ 3.1	11,329	△ 3.9	—	99.2
3月末	8,795	△ 14.4	9,799	△ 16.9	—	99.2
4月末	8,829	△ 14.1	9,990	△ 15.3	—	99.3
5月末	9,258	△ 9.9	10,646	△ 9.7	—	99.6
6月末	9,313	△ 9.4	10,753	△ 8.8	—	99.6
(期末) 2020年 7月17日	9,301	△ 9.5	10,844	△ 8.0	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 1. 18 ~ 2020. 7. 17）

■新興国債券市況

新興国債券市場では、多くの国で金利は低下（債券価格は上昇）しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まり、市場のリスク回避的な姿勢が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。ロシアやポーランドでは、中央銀行による複数回の利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行による複数回の利下げが行われたことにより短期の金利は低下した一方、新型コロナウイルスの感染拡大への影響で景気悪化懸念が高まったことで、長期の金利は上昇しました。フィリピンやインドでは、中央銀行による利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジル、メキシコおよびペルーでは、中央銀行による利下げが複数回行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

■為替相場

新興国の為替相場は、多くの通貨が対円で下落しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチは、対円で下落しました。

・アジア地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソは、対円で下落しました。

・中南米地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020. 1. 18 ~ 2020. 7. 17)

■当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。

・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

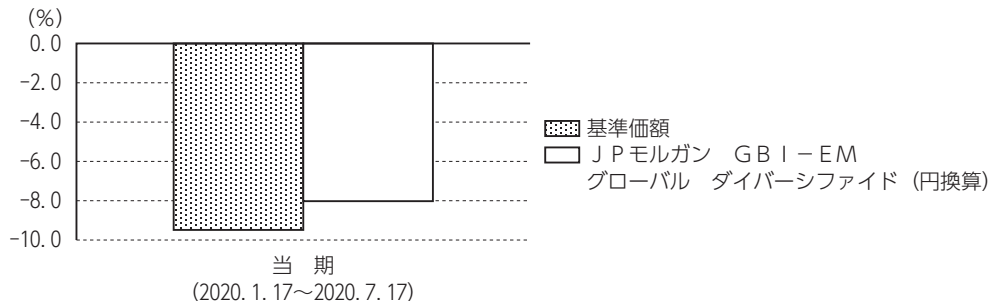
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年1月18日 ～2020年7月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	10
対基準価額比率	（%）	0.11
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,064

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 176.50円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	60.16
(d) 分配準備積立金	3,837.46
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	4,074.13
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,064.13

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 1. 18～2020. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.588%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,372円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	55	0.592	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

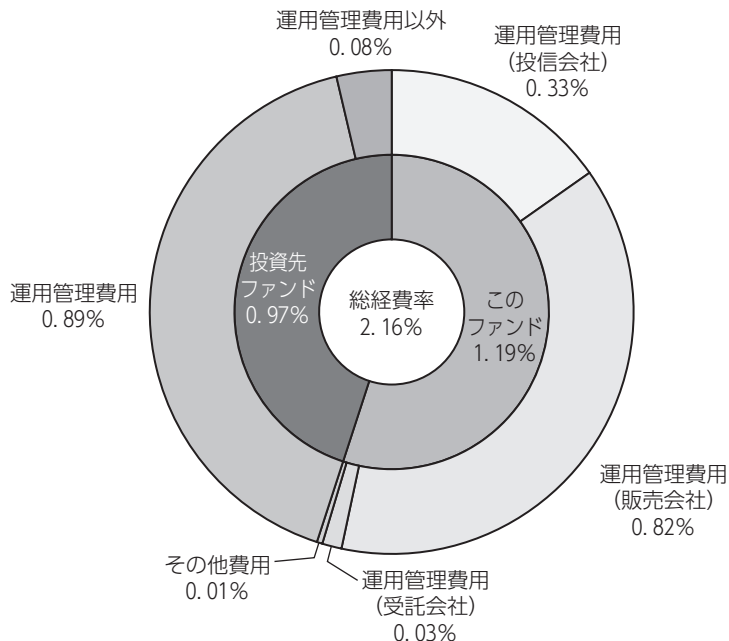
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.16%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.16%
①このファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	233.00176	15,656	963.86355	68,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	963.86355	68,600	71

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	9,001.4464	598,920	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	598,920	96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	19,958	3.2
投資信託財産総額	618,913	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年7月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	628,313,071円
コール・ローン等	10,558,566
投資信託受益証券（評価額）	598,920,238
ダイワ・マネー・マザーファンド （評価額）	34,268
未収入金	18,799,999
(B) 負債	23,186,092
未払金	9,400,000
未払収益分配金	651,270
未払解約金	9,379,289
未払信託報酬	3,729,613
その他未払費用	25,920
(C) 純資産総額（A－B）	605,126,979
元本	651,270,365
次期繰越損益金	△ 46,143,386
(D) 受益権総口数	651,270,365口
1万口当り基準価額（C/D）	9,291円

* 期首における元本額は713,347,825円、当作成期間中における追加設定元本額は307,105円、同解約元本額は62,384,565円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,291円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は46,143,386円です。

■損益の状況

当期 自 2020年1月18日 至 2020年7月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	15,250,764円
受取配当金	15,251,722
受取利息	13
支払利息	△ 971
(B) 有価証券売買損益	△ 74,922,659
売買益	2,937,608
売買損	△ 77,860,267
(C) 信託報酬等	△ 3,755,555
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 63,427,450
(E) 前期繰越損益金	15,983,451
(F) 追加信託差損益金	1,951,883
（配当等相当額）	（ 3,918,298）
（売買損益相当額）	（△ 1,966,415）
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 45,492,116
(H) 収益分配金	△ 651,270
次期繰越損益金（G＋H）	△ 46,143,386
追加信託差損益金	1,951,883
（配当等相当額）	（ 3,918,298）
（売買損益相当額）	（△ 1,966,415）
分配準備積立金	260,766,773
繰越損益金	△ 308,862,042

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,495,209円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	3,918,298
(d) 分配準備積立金	249,922,834
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	265,336,341
(f) 分配金	651,270
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	264,685,071
(h) 受益権総口数	651,270,365口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
48期末(2018年2月19日)	5,923	80	△ 2.2	11,178	△ 1.9	—	99.5	2,811
49期末(2018年3月19日)	5,792	55	△ 1.3	10,987	△ 1.7	—	99.7	2,728
50期末(2018年4月17日)	5,729	55	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6	2,593
51期末(2018年5月17日)	5,589	55	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2	2,484
52期末(2018年6月18日)	5,379	55	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0	2,340
53期末(2018年7月17日)	5,401	55	1.4	10,701	2.8	—	99.2	2,308
54期末(2018年8月17日)	5,055	55	△ 5.4	10,084	△ 5.8	—	99.1	2,142
55期末(2018年9月18日)	4,927	55	△ 1.4	10,064	△ 0.2	—	99.3	2,049
56期末(2018年10月17日)	5,000	55	2.6	10,415	3.5	—	99.2	2,032
57期末(2018年11月19日)	5,064	40	2.1	10,467	0.5	—	99.1	2,012
58期末(2018年12月17日)	5,007	40	△ 0.3	10,494	0.3	—	99.2	1,952
59期末(2019年1月17日)	4,952	40	△ 0.3	10,559	0.6	—	99.0	1,898
60期末(2019年2月18日)	4,988	40	1.5	10,779	2.1	—	99.5	1,878
61期末(2019年3月18日)	5,008	40	1.2	10,931	1.4	—	99.3	1,849
62期末(2019年4月17日)	4,976	40	0.2	11,015	0.8	—	99.5	1,809
63期末(2019年5月17日)	4,815	40	△ 2.4	10,630	△ 3.5	—	99.6	1,739
64期末(2019年6月17日)	4,828	40	1.1	10,827	1.9	—	98.9	1,689
65期末(2019年7月17日)	4,903	40	2.4	11,203	3.5	—	99.4	1,694
66期末(2019年8月19日)	4,720	40	△ 2.9	10,835	△ 3.3	—	99.1	1,589
67期末(2019年9月17日)	4,791	40	2.4	11,106	2.5	—	99.1	1,567
68期末(2019年10月17日)	4,777	40	0.5	11,205	0.9	—	99.2	1,542
69期末(2019年11月18日)	4,784	40	1.0	11,282	0.7	—	99.3	1,523
70期末(2019年12月17日)	4,816	40	1.5	11,541	2.3	—	99.2	1,496
71期末(2020年1月17日)	4,819	40	0.9	11,790	2.2	—	98.8	1,467
72期末(2020年2月17日)	4,758	40	△ 0.4	11,656	△ 1.1	—	99.3	1,431
73期末(2020年3月17日)	4,144	40	△ 12.1	9,914	△ 14.9	—	99.2	1,236
74期末(2020年4月17日)	4,097	40	△ 0.2	9,958	0.4	—	99.4	1,189
75期末(2020年5月18日)	4,085	40	0.7	10,111	1.5	—	99.1	1,179
76期末(2020年6月17日)	4,125	40	2.0	10,780	6.6	—	99.8	1,179
77期末(2020年7月17日)	4,075	40	△ 0.2	10,844	0.6	—	99.0	1,155

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

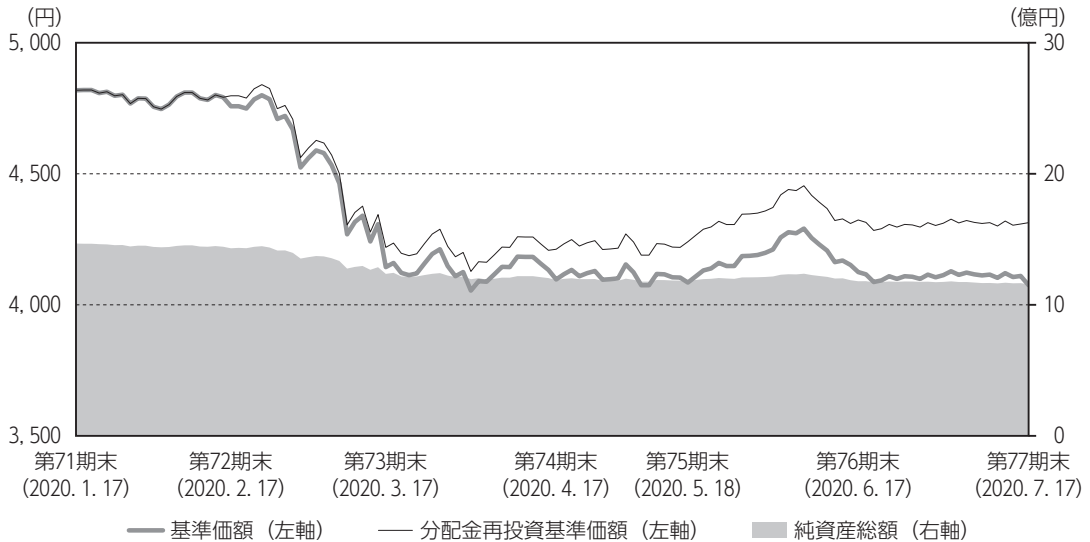
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第72期首：4,819円

第77期末：4,075円（既払分配金240円）

騰落率：△10.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入や債券の利息収入、債券価格の上昇がプラス要因となりましたが、投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第72期	(期首) 2020年 1月17日	4,819	—	11,790	—	—	98.8
	1月末	4,756	△ 1.3	11,535	△ 2.2	—	99.3
	(期末) 2020年 2月17日	4,798	△ 0.4	11,656	△ 1.1	—	99.3
第73期	(期首) 2020年 2月17日	4,758	—	11,656	—	—	99.3
	2月末	4,669	△ 1.9	11,329	△ 2.8	—	99.1
	(期末) 2020年 3月17日	4,184	△ 12.1	9,914	△ 14.9	—	99.2
第74期	(期首) 2020年 3月17日	4,144	—	9,914	—	—	99.2
	3月末	4,109	△ 0.8	9,799	△ 1.2	—	98.8
	(期末) 2020年 4月17日	4,137	△ 0.2	9,958	0.4	—	99.4
第75期	(期首) 2020年 4月17日	4,097	—	9,958	—	—	99.4
	4月末	4,101	0.1	9,990	0.3	—	99.1
	(期末) 2020年 5月18日	4,125	0.7	10,111	1.5	—	99.1
第76期	(期首) 2020年 5月18日	4,085	—	10,111	—	—	99.1
	5月末	4,190	2.6	10,646	5.3	—	99.1
	(期末) 2020年 6月17日	4,165	2.0	10,780	6.6	—	99.8
第77期	(期首) 2020年 6月17日	4,125	—	10,780	—	—	99.8
	6月末	4,115	△ 0.2	10,753	△ 0.3	—	99.1
	(期末) 2020年 7月17日	4,115	△ 0.2	10,844	0.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 1. 18 ~ 2020. 7. 17）

■新興国債券市況

新興国債券市場では、多くの国で金利は低下（債券価格は上昇）しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まり、市場のリスク回避的な姿勢が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。ロシアやポーランドでは、中央銀行による複数回の利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行による複数回の利下げが行われたことにより短期の金利は低下した一方、新型コロナウイルスの感染拡大への影響で景気悪化懸念が高まったことで、長期の金利は上昇しました。フィリピンやインドでは、中央銀行による利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジル、メキシコおよびペルーでは、中央銀行による利下げが複数回行われたことなどを背景に、金利は低下しました。

■為替相場

新興国の為替相場は、多くの通貨が対円で下落しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチは、対円で下落しました。

・アジア地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソは、対円で下落しました。

・中南米地域

新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避的な姿勢が強まり、新興国からの資金流出が進んだことなどを背景に、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルは、対円で下落しました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、通貨によってまちまちの結果となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.1.18～2020.7.17)

■当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・ 債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・ 通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

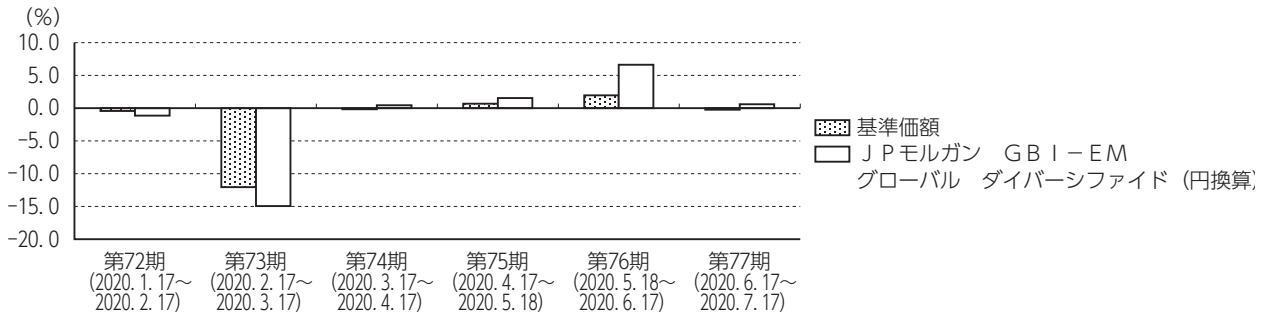
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日	2020年6月18日 ～2020年7月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.83	0.96	0.97	0.97	0.96	0.97
当期の収益 (円)	31	31	32	36	28	30
当期の収益以外 (円)	8	8	7	3	11	9
翌期繰越分配対象額 (円)	220	211	204	200	189	180

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.84円	✓ 31.30円	✓ 32.35円	✓ 36.46円	✓ 28.96円	✓ 30.36円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	28.99	29.42	29.91	30.37	30.84	31.28
(d) 分配準備積立金	✓ 199.82	✓ 191.22	✓ 182.04	✓ 173.94	✓ 169.93	✓ 158.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	260.65	251.95	244.31	240.77	229.74	220.11
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	220.65	211.95	204.31	200.77	189.74	180.11

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2020. 1. 18～2020. 7. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	25円	0.586%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,313円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.025	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.025)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	26	0.614	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

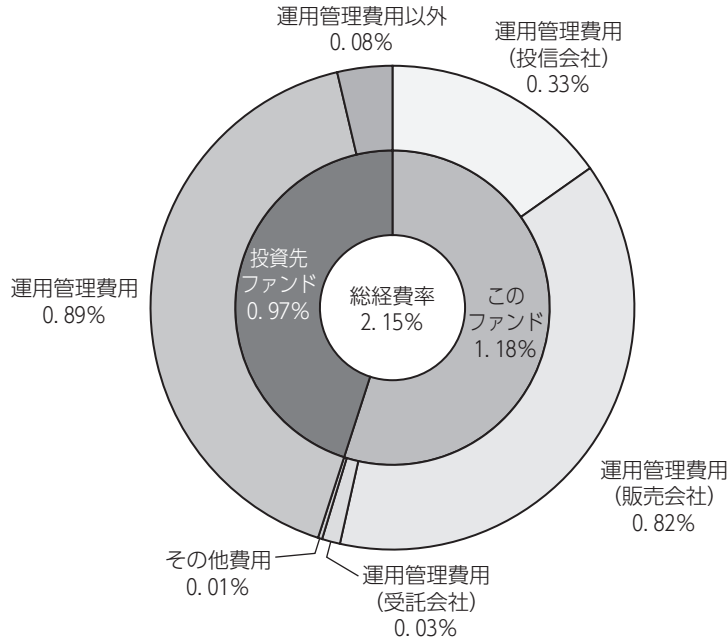
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2020年1月18日から2020年7月17日まで）

決算期	第 72 期 ～ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,511.791	62,868	3,883.12314	160,677

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2020年1月18日から2020年7月17日まで）

第 72 期				第 77 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	3,883.12314	160,677	41

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	28,594.68295	1,144,645	99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第71期末	第 77 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	96	96	97

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月17日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,144,645	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	23,429	2.0
投資信託財産総額	1,168,173	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月17日)、(2020年3月17日)、(2020年4月17日)、(2020年5月18日)、(2020年6月17日)、(2020年7月17日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	1,449,289,661円	1,251,374,002円	1,206,343,788円	1,192,307,638円	1,202,131,727円	1,168,173,032円
コール・ローン等	27,555,272	24,889,806	23,791,359	23,513,029	23,972,907	23,429,965
投資信託受益証券 (評価額)	1,421,636,470	1,226,386,277	1,182,454,510	1,168,696,690	1,178,060,911	1,144,645,158
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	97,919	97,919	97,919	97,919	97,909	97,909
(B) 負債	17,786,274	15,319,685	16,986,873	12,782,112	22,233,230	12,534,605
未払収益分配金	12,034,531	11,930,908	11,611,729	11,550,826	11,442,707	11,342,310
未払解約金	4,287,350	2,083,858	4,125,000	—	9,570,300	—
未払信託報酬	1,454,261	1,285,832	1,222,540	1,195,359	1,176,085	1,140,244
その他未払費用	10,132	19,087	27,604	35,927	44,138	52,051
(C) 純資産総額 (A - B)	1,431,503,387	1,236,054,317	1,189,356,915	1,179,525,526	1,179,898,497	1,155,638,427
元本	3,008,632,792	2,982,727,043	2,902,932,365	2,887,706,710	2,860,676,846	2,835,577,538
次期繰越損益金	△ 1,577,129,405	△ 1,746,672,726	△ 1,713,575,450	△ 1,708,181,184	△ 1,680,778,349	△ 1,679,939,111
(D) 受益権総口数	3,008,632,792口	2,982,727,043口	2,902,932,365口	2,887,706,710口	2,860,676,846口	2,835,577,538口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,758円	4,144円	4,097円	4,085円	4,125円	4,075円

*第71期末における元本額は3,045,433,312円、当作成期間(第72期~第77期)中における追加設定元本額は45,212,059円、同解約元本額は255,067,833円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は4,075円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,679,939,111円です。

■損益の状況

第72期 自 2020年1月18日 至 2020年2月17日 第74期 自 2020年3月18日 至 2020年4月17日 第76期 自 2020年5月19日 至 2020年6月17日

第73期 自 2020年2月18日 至 2020年3月17日 第75期 自 2020年4月18日 至 2020年5月18日 第77期 自 2020年6月18日 至 2020年7月17日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 配当等収益	11,044,786円	10,631,482円	10,624,053円	11,733,280円	8,715,549円	9,758,857円
受取配当金	11,045,017	10,631,877	10,624,467	11,733,651	8,716,120	9,759,112
受取利息	—	—	19	1	—	5
支払利息	△ 231	△ 395	△ 433	△ 372	△ 571	△ 260
(B) 有価証券売買損益	△ 16,017,413	△ 180,527,268	△ 11,412,042	△ 2,572,195	15,322,440	△ 11,176,016
売買益	150,420	443,499	396,171	1	15,542,621	100,515
売買損	△ 16,167,833	△ 180,970,767	△ 11,808,213	△ 2,572,196	△ 220,181	△ 11,276,531
(C) 信託報酬等	△ 1,464,393	△ 1,294,787	△ 1,231,057	△ 1,203,687	△ 1,184,307	△ 1,148,184
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 6,437,020	△ 171,190,573	△ 2,019,046	7,957,398	22,853,687	△ 2,565,343
(E) 前期繰越損益金	△ 1,408,501,270	△ 1,411,450,682	△ 1,547,806,922	△ 1,549,135,969	△ 1,533,996,520	△ 1,505,074,252
(F) 追加信託差損益金	△ 150,156,584	△ 152,100,563	△ 152,137,753	△ 155,451,787	△ 158,192,809	△ 160,957,206
(配当等相当額)	(8,722,413)	(8,778,127)	(8,683,746)	(8,771,628)	(8,822,850)	(8,869,704)
(売買損益相当額)	(△ 158,878,997)	(△ 160,878,690)	(△ 160,821,499)	(△ 164,223,415)	(△ 167,015,659)	(△ 169,826,910)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,565,094,874	△ 1,734,741,818	△ 1,701,963,721	△ 1,696,630,358	△ 1,669,335,642	△ 1,668,596,801
(H) 収益分配金	△ 12,034,531	△ 11,930,908	△ 11,611,729	△ 11,550,826	△ 11,442,707	△ 11,342,310
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,577,129,405	△ 1,746,672,726	△ 1,713,575,450	△ 1,708,181,184	△ 1,680,778,349	△ 1,679,939,111
追加信託差損益金	△ 150,156,584	△ 152,100,563	△ 152,137,753	△ 155,451,787	△ 158,192,809	△ 160,957,206
(配当等相当額)	(8,722,413)	(8,778,127)	(8,683,746)	(8,771,628)	(8,822,850)	(8,869,704)
(売買損益相当額)	(△ 158,878,997)	(△ 160,878,690)	(△ 160,821,499)	(△ 164,223,415)	(△ 167,015,659)	(△ 169,826,910)
分配準備積立金	57,664,744	54,443,271	50,627,839	49,207,738	45,457,485	42,203,041
繰越損益金	△ 1,484,637,565	△ 1,649,015,434	△ 1,612,065,536	△ 1,601,937,135	△ 1,568,043,025	△ 1,561,184,946

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,580,393円	9,336,695円	9,392,996円	10,529,593円	8,286,120円	8,610,673円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,722,413	8,778,127	8,683,746	8,771,628	8,822,850	8,869,704
(d) 分配準備積立金	60,118,882	57,037,484	52,846,572	50,228,971	48,614,072	44,934,678
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	78,421,688	75,152,306	70,923,314	69,530,192	65,723,042	62,415,055
(f) 分配金	12,034,531	11,930,908	11,611,729	11,550,826	11,442,707	11,342,310
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	66,387,157	63,221,398	59,311,585	57,979,366	54,280,335	51,072,745
(h) 受益権総口数	3,008,632,792口	2,982,727,043口	2,902,932,365口	2,887,706,710口	2,860,676,846口	2,835,577,538口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年7月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

純資産計算書
2019年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	21,863,748
現金および現金同等物		766,488
未収：		
利息		351,945
売却済み証券		—
資産合計		<u>22,982,181</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		40,429
未払：		
保管会社報酬		23,339
専門家報酬		19,173
管理会社報酬		18,843
報酬代行会社報酬		17,339
副投資運用会社報酬		5,794
受託会社報酬		1,739
名義書換代理人報酬		1,599
受益証券の買戻し		—
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>128,255</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>22,853,926</u>

包括利益計算書

2019年5月31日に終了した年度

収益	
受取利息	\$ 1,908,506
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損益	(2,336,817)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の純変動	350,044
外国為替取引による純実現損益	(107,525)
外国為替換算による評価損益の純変動	23,154
(損失) / 収益合計	<u>(162,638)</u>
費用	
副投資運用会社報酬	76,186
保管会社報酬	46,979
管理会社報酬	46,129
報酬代行会社報酬	44,818
専門家報酬	18,939
受託会社報酬	10,000
名義書換代理人報酬	8,696
登録料	914
費用合計	<u>252,661</u>
金融費用控除前営業（損失） / 利益	<u>(415,299)</u>
金融費用	
償却可能受益証券の保有者への分配金	<u>(3,273,847)</u>
源泉徴収税	(77,618)
運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	<u>\$ (3,766,764)</u>

投資明細表
2019年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/	\$	2,200,468.07
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/		287,423.10
ブラジル計		2,487,891.17

インドネシア

INDONESIA 11.5% 09/15/19/IDR/		1,282,565.08
INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/		937,721.80
インドネシア計		2,220,286.88

メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/		2,264,742.63
MEX BONOS DES 5% 12/11/19/MXN/		100,227.93
メキシコ計		2,364,970.56

ペルー

BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/		2,301,117.77
BONOS DE T 5.94% 02/12/29/PEN/		221,004.66
ペルー計		2,522,122.43

フィリピン

PHILIPPIN 3.875% 11/22/19/PHP/		951,267.81
PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/		1,544,489.51
フィリピン計		2,495,757.32

ポーランド

POLAND GOV 5.25% 10/25/20/PLN/		1,176,213.51
POLAND GOV 5.75% 10/25/21/PLN/		1,168,754.28
ポーランド計		2,344,967.79

ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/		677,279.91
RUSSIA GOVT 6.8% 12/11/19/RUB/		704,766.64
RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/		989,609.50
ロシア計		2,371,656.05

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド

国際機関		
IBRD ZCP 06/15/21/INR/		1,459,075.04
INTL FINANC 6.3% 11/25/24/INR/		1,121,001.56
国際機関計		2,580,076.60
トルコ		
TURKEY GOVER 11% 02/24/27/TRY/		614,841.53
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/		450,952.34
トルコ計		1,065,793.87
債券計		20,453,522.67

通貨αクラス - 2019年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：(純資産の-0.2%)

戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2019/6/10	Credit Suisse International	\$ 15,817,457	\$ (40,429)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2020年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年1月18日～2020年7月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,771,524千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年7月17日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,983	<1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

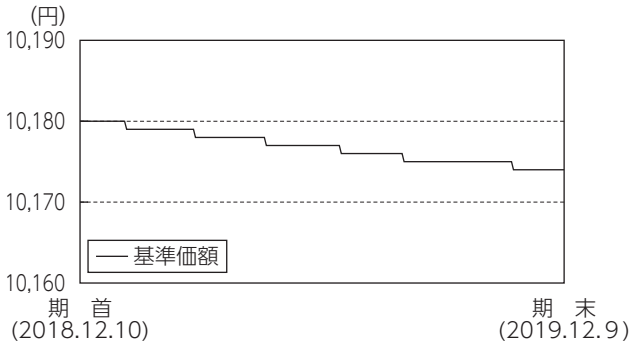
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末日	10,180	-	-
2019年1月末日	10,180	0.0	-
2月末日	10,179	△0.0	-
3月末日	10,178	△0.0	-
4月末日	10,178	△0.0	-
5月末日	10,177	△0.0	-
6月末日	10,176	△0.0	-
7月末日	10,176	△0.0	-
8月末日	10,175	△0.0	-
9月末日	10,175	△0.0	-
10月末日	10,175	△0.0	-
11月末日	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	(238,999,547)

- (注1) 金額は受渡し代金。
- (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表 国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A-B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C+D+E+F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。